

# 山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成28年度第2回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日時	平成28年10月27日(木) 18:00~19:30		
場所	小野田保健センター		
出席者	小野田医師会	川端章弘	(会長)
	厚狭郡医師会	中根比呂志	(委員)
	厚狭歯科医師会	山崎哲朗	(委員)
	山陽小野田市ふるさとづくり協議会	石川宜信	(委員)
	山陽小野田市連合女性会	井上幸子	(委員)
	山陽小野田市母子保健推進協議会	吉田由美子	(委員)
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半矢幸子	(委員)
	山口宇部農業協同組合	相本まゆみ	(委員)
	山口県看護協会小野田支部	中嶋直美	(委員)
	山口県栄養士会宇部地域専門部会	藤井紘美	(委員)
	山口県歯科衛生士会小野田支部	藤本文子	(委員)
	山陽小野田市社会福祉協議会	沖野浩	(委員)
	一般公募	塩田賢二	(委員)
	一般公募	原田静江	(委員)
	(出席者数 13人)		
欠席者	山陽小野田市自治会連合会	平中政明	(副会長)
	小野田歯科医師会	田中裕基	(委員)
	山陽小野田薬剤師会	松澤進	(委員)
	山陽小野田市老人クラブ連合会	守田節子	(委員)
	山陽小野田市小・中学校PTA連合会	河野勝	(委員)
	(欠席者数 5人)		
オブザーバー	山口県宇部健康福祉センター	田村雅子	
事務局	健康福祉部長 河合久雄	健康増進課長	岩佐清彦
	健康増進課課長補佐 河野静恵	成人保健係主査	石井尚子
	健康企画係係長 大海弘美	母子保健係主任	末永久美
	成人保健係主任 加藤諭香江	健康企画係主事	村上良平

1. あいさつ	健康福祉部長あいさつ
2. 新委員紹介	
3. 議 事	(1) B型肝炎予防接種の定期化について
事 務 局	資料1 (B型肝炎ワクチンの定期接種化の概要) の説明
議 長	意見、質問等ないか。
委 員	県外で予防接種を受ける際の手続きはどのようにするのか。
事 務 局	県外で接種希望の申し出があった際、健康増進課と県外医療機関の間で委託契約締結の手続きを行う。県外接種の場合でも自己負担は無料である。
事 務 局	(2) 子育て世代包括支援センター (ココシエ) の取組み状況について
議 長	資料2 (子育て世代包括支援センター・ココシエの開所からの動きについて) の説明
委 員	意見、質問等ないか。
事 務 局	貧困などの家庭状況を背景とした相談があると思うが、社会福祉協議会と連携をとることはあるのか。
委 員	27年度に連絡調整を2件行った。
事 務 局	ココシエが担う対象年齢は何歳までか。
委 員	18歳までである。
事 務 局	虐待に至る原因は何か。
委 員	原因は1つでなく、複数の要因が関わっている。金銭面、実家からの援助、夫の支えなどといった問題を1つずつ解決していく必要がある。
事 務 局	虐待の報告を受けた際の対応方法はどのようにするのか。
委 員	まずは実態把握を含めた生存確認をする。訪問の際は、虐待に対する目的でなく、別の目的での訪問であることを説明できるようにする。
事 務 局	今まで面会拒否の案件はあったのか。
委 員	現在のところは無い。
事 務 局	地域のつながりの低下が、虐待の増加に関わっていると思う。昔は、地域の見守りの目が多くあった。
委 員	地域の力は大きいものである。民生委員を初めとする地域の皆様の支援や協力を今後もお願いしたい。
事 務 局	支援プランの具体的な内容はどんなものか。
委 員	長期目標と短期目標を立てながら進めている。例えば、「健診を受診する」や「生活費管理を行う」といった各関係機関の役割を明確にしつつ、保護者に声掛けを行いながら目標達成へ努めている。
事 務 局	(3) 食育連携室の取組み状況について
議 長	資料3 (食育連携室設置からの動きについて) の説明
委 員	意見、質問等ないか。
事 務 局	「連携」という観点で行政と市民との一体感が感じられない。市全体がもっと連携しなくてはならないと思う。

事務局	行政に対する指摘として縦割りである点が挙げられる。食育連携室では、各々の課同士の連携といった横のつながりを進めている。
委員	共働きの家庭が増えている。心の栄養も意識して取り組んで欲しい。
事務局	食の栄養だけでなく、心の栄養にも意識していきたい。
事務局	食育基本法では、学校や地域などにも子供達への食育を求められている。子供達自身が選択して栄養をとれる教育を進める上で、学校や地域などと一体となって行っていきたい。
事務局	平成30年開設予定である子育て総合支援センターでは、就学前の子供達が自分自身で料理して食育を学べるよう、キッズキッチンを設ける。
委員	小中学校の保護者対象に食育に関する講演を行うのはどうか。
事務局	検討したい。
	いつも同じ関心の高い保護者が参加して、聞いてもらいたい保護者が参加していない現状もある。
事務局	県でも食育事業を行っているが、何か意見はないか。
オブザーバー	県の食育事業を進めるにあたって、子供達が次の準備ができる気持ちをも身につけていくことがこれから大事なのではと感じる。
委員	P D C A サイクルの意味を教えてほしい。
事務局	P l a n (=計画)、D o (=実行)、C h e c k (=評価)、A c t (=改善) という意味である。
委員	横の連携強化のために会議を行っているとのことだが、会議のメンバーを教えてほしい。
事務局	食生活改善推進協議会、母子保健推進協議会、幼稚園、保育園、小中学校、生産者、市役所関係課といったメンバーである。
委員	K D B 国保データベースを解析して分かったことはあるか。
事務局	朝食の欠食率が高い点が挙げられる。
委員	管理栄養士や栄養士の能力が発揮できるための配置体制を整えるにあたり、人事課と連携は行っているのか。
事務局	管理栄養士に限らず、専門職の配置について人事課と連携を行っている。
事務局	(4) 第7回SOS健康フェスタについて
議長	資料4(第7回SOS健康フェスタについて)の説明
委員	意見、質問等ないか。
事務局	参加者は年々増えているのか。
事務局	第1回の参加者は約200人であり、昨年度の第6回の参加者は1800人であった。
委員	SOS健康フェスタのような地域が一体となった行事をもっと増やしてはどうか。
	例えば、食生活改善推進協議会と老人クラブ連合会が連携して来場者に食を提供しつつ、子供達に昔の遊びを教えるといった行事など面白いと思う。

<p>議 長 委 員</p>	<p>(5) その他 意見、質問等ないか。 前回の協議会の中で中学生ピロリ菌対策事業の実施の提案を行った。 実施に向けて進展はあったか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>県内で実施している市町は無い。県外で実施している市町のホームページを参考にしたり、医師会の担当医師と相談したりして検討した。対象年齢は中学校2年生が適切と考えている。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>実施に向けて、学校教育課や財政課、企画課と協議を行っている。 山陽小野田市が県内13市の中で平成26年度の女性の健康寿命が1番長いという発表があった。また、男性の健康寿命は3番目と高順位であった。健康づくり事業の少しずつの積み重ねがこのような素晴らしい結果となった。今後とも、力を入れていきたいと思う。</p>
<p>オブザーバー</p>	<p>健康寿命を延ばすことが、元気でいきいきと地域で暮らせると思うので、これからも山陽小野田市の取り組みを進めてもらいたい。</p>
<p>次回開催予定 2月23日(木曜日) 18時00分～ 小野田保健センター</p>	